



2021年4月20日

各位

会社名 JESCOホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長 杉本俊洋  
(コード番号：1434 東証第二部)  
問合せ先 戦略経営企画室長 沼井雅行  
(TEL. 03-6382-7273)

## 再エネ100宣言 RE Action 参加のお知らせ

当社は、このたび、再エネ100宣言 RE Action (アールイーアクション。以下、RE Action)に参加しましたので、お知らせいたします。再エネ100宣言 RE Actionは、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みで、RE Actionに参画することにより、2050年迄に使用電力を100%再エネに転換することを目標とし、公表致しました。当社は、今後も脱炭素に向けた再エネの利用に取り組んでまいります。

### 記

#### 1. 再エネ100宣言 RE Actionについて

再エネ100宣言 RE Actionとは、企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。参加企業は、2050年迄に使用電力を100%再エネに転換する目標を設定し、対外的に公表します。

再エネ100宣言 RE Actionの公式サイト  
<https://saiene.jp/>



#### 2. 参加の目的

当社は脱炭素を重大かつ最優先の経営課題と捉え、その具体的な取り組みとして、公的に認知された RE Actionに参画することにより、再エネ100%利用の目標値を設定し、対外的に公表することとしました。今回の参加により、当社は再エネの利用を加速すると同時に、その取り組みについて、投資家、顧客、取引先などのステークホルダの皆様のご理解を得たいと考えております。

#### 3. 目標値について

2050年迄に使用電力を100%再エネに転換することを目標とし、公表致しました。その具体的な方策としては、当社所有の太陽光発電設備の拡張や社員宅及び協力会社等の太陽光の活用など、積極的に再生可能エネルギーの拡大に努めてまいります。当社は、今後も脱炭素に向けた再エネの利用に取り組んでまいります。

#### 4. 森林によるCO2削減について

当社は、脱炭素に向けたCO2削減にも取り組んでいます。那智勝浦の16.7haの保安林を始め、長野県蓼科の研修センター・ゲストセンター、静岡県伊東市川奈のゲストハウスにも森林を保有し、CO2の削減に努めております。今後も森林保有によるCO2の削減に取り組みます。

当社保有の森林によるCO2削減量：約330トン/年

#### 那智勝浦の保安林の概要

樹種：スギとヒノキ、面積：16.7ha、本数：5万本

以上